

城辺俳句会

春田はや水入れ時を待つばかり  
 春うらら居酒屋ランチ始めます  
 らくがきの吾子も祖父たり木瓜の花  
 僧都てふ里の名ゆかし春田あり  
 検査値に安堵の帰路や山笑う  
 天平の陶石残る春田かな  
 窓越しに友の手みやげ春の夕  
 今来る文読む庭や沈丁花  
 故郷は近くて遠し春霞  
 城壁に秘めたる哀史つぼすみれ  
 初蝶は黄なり洗濯日和なり

加納 幸子  
 吉田 丸美  
 仙波登志子  
 橋本 百代  
 大浜 紀子  
 田村 治子  
 宮田志賀子  
 井手 幸子  
 山田 静恵  
 山本 節子  
 大和田いそ子

城辺川柳会

「私」  
 「私だれ」自分忘れてくる怖さ  
 私の道見えない明日に生きて行く  
 今の私これで十分日々過ごす  
 雨傘は私の旅の必需品  
 我が子達私の生きた証です  
 私事書かれた手紙大事件  
 お一人様私好みの塩加減  
 私はわたし私らしさも芸の内  
 句を捻る私百歳子が褒める

本多 暁  
 沖 佐賀  
 飯田 律子  
 本多 一会  
 木戸富士子  
 矢鋪 都  
 稲田つるみ  
 橋本 百代  
 藤森 玉子

▶川柳人をご紹介します

篠南川柳会 もっちゃんさん(正木)

篠南川柳会に所属していた友人たちに誘われ、10年ほど前に会に入り川柳を始めました。



川柳を始めてから、内容を考えるのでボケ防止になりますし、話す仲間もできて楽しい日々を送っています。川柳の良いところは、規則に縛られず自由な発想で作ることができることです。

今後は元気な間続けていって、一緒に川柳を詠む仲間を増やしていきたいです。

はじめまして。赤ちゃん。

ご冥福をお祈りします。

※右記3月受け付け分(敬称略)情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。

死亡後の手続きについては  
 町ホームページをご覧ください。



愛南町  
 ホーム  
 ページ